項目

主要施策·成果·予算執行実績

1. 総 括 概要

農業を取り巻く環境は、5年間にわたり協議を重ねてきたTPP交渉が大筋合意されるなど、大きな転換期を迎えている中で、北海道で唯一の市町村営による農業共済事業として、コンプライアンス(法令等遵守)の徹底を図るとともに、加入者間の公平を図り信頼される農業共済を目指し運営を行った。

平成18年度から市町村農業共済事業の事務費補助金が地方交付税に一般財源化されているが、本年度の算定額は、前年度より3,955千円減となる37,200千円となり、一般会計より繰入れたが、業務勘定の繰越金は33千円減となり、事業運営に危機感を持たざるを得ない状況となっている。

また、国の農業共済組織の1県1組合化の推進を受け、道内5ブロック化に向け、本町は十勝農業共済組合と十勝管内農業共済組合等組織再編検討委員会で協議を行っており、家畜診療業務の取扱いに関し、双方の主張が折り合わず調整不可能な状況に陥っている。このため、直営と嘱託以外の方法として開業獣医師扱いの対応で協議を継続することとなった。

なお、勘定ごとの報告については次のとおりである。

2. 農作物共済 勘 定

1. 引受

平成27年産小麦は、平成26年秋に戸数247戸、面積244,189aの引受を完了し、共済金額は1,262,356千円となった。前年対比は、戸数は3戸減で、面積は8,561a減、共済金額では、26,750千円減となった。

平成28年産小麦は、平成27年秋に耕作者が全圃場の実測を行い、引受戸数244戸、引受面積237,921aが確定し、前年対比は、面積で6,268a減、共済金額では、320,343千円増となった。

年度別農作物(小麦)引受状況

項	目	平成28年産 (27年度引受)	平成27年産 (26年度引受)	平成26年産 (25年度引受)
加入戸数	(戸)	244	247	250
引受面積	(a)	237, 921	244, 189	252, 750
共済金額	(円)	1, 582, 699, 515	1, 262, 356, 351	1, 289, 106, 132
共済掛金徴収	額(円)	59, 637, 981	34, 505, 340	39, 510, 976
納入保険料	(円)	42, 682, 947	13, 724, 241	15, 571, 364
手持共済掛金	(円)	16, 955, 034	20, 781, 099	23, 939, 612

2. 被害

平成27年産小麦は、春耕期は高温・小雨で推移し、播種作業は順調に進んだ。 6月から7月中旬は低温と乾燥、7月下旬から8月は降雨により、収穫中の小麦に 品質低下も懸念されたが、その後は天候に恵まれ、収穫を終えることができ、収量・ 品質ともに過去最高となった。

共済金支払状況

 項 目	支払	対象被害	共済減収量	支払共済金	被害率(%)			
	戸数	面積(a)	(kg)	(円)	戸数	面積	金額	
平成27年産	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
(26年度引受)	0	0	U	0	0.0	0.0	0.0	
平成26年産	41	22 110	200 004	20 174 417	16. 4	13. 1	1.6	
(25年度引受)	41	33, 110	300, 004	20, 174, 417	10.4	15.1	1.0	

項目	主	要施	策・成	果 • 予	算 執 行	実 績
	無事戻支払状況					
		支払	無	事戻金額(円))	
	項目	戸数	連合会特別 交 付 金	特別積立金 取 崩 額	計	支払年月日
	平成27年度	54	338, 816	1, 355, 264	1, 694, 080	平成27年9月29日
	平成26年度	240	8, 035, 208	32, 140, 835	40, 176, 043	平成26年9月29日
	3. 経理状況 歳 入 額 歳 出 額 剰 余 金 責任準備金		0 3, 5 2 7, 9 2 3, 1 0 8, 8 2 0, 7 8 1, 0 1 6, 9 5 5, 0	847円 99円(議会	☆認定後積立金	:に振替予定)

3. 家畜共済 勘 定

1. 引受

引受では、未加入及び離農により加入戸数は3戸減となったが、全共済目的合計で 対前年比904頭の増となった。

42,682,947円 (平成28年産麦納入保険料)

2. 事業内容

(1) 事故低減対策

未払保険料 積 立 金

法定積立金

特別積立金

嘱託獣医師と連携し、高被害率農家への指導・啓発 乳用子牛等の事故低減対策を連合会と協議

295,926,407円

57,623,621円

238,302,786円

- (2) 家畜共済制度の周知 農家個別巡回での制度説明
- (3) 異動通知の適正化
 - 乳牛の雌等は、前月の異動状況を加入者へ確認後に異動処理 乳牛の雌等の現地個体照合 個体識別情報と家畜共済の個体整理簿を突合システムで照合確認

(4) 予防事業等

特定損害防止事業(繁殖障害) 畜舎等衛生事業 (消毒事業)

(5) 事故畜の確認

死廃事故畜のテレビ電話等による現地確認 病傷事故の現地での聞き取り

3. 引受実績

引受頭数は、全共済目的合計で62,666頭、前年対比904頭増となり、総共 済金額は8,188,210千円で、評価額の見直しがあったため、前年対比860, 150千円増となった。

事故除外方式は、乳牛の雌等で13戸、その他の肉用成牛では3戸の計16戸が1 号除外方式(特定事故等を除く死廃事故の補償はなく、病傷事故の補償はあり)を選 択した。

引受状況

共済目的	年度	戸数	引受頭数	共済金額(円)	徴収共済掛金(円)	1頭当共済金額(円)	
	27	69	13, 981	2, 402, 518, 638	147, 125, 069	171, 842	
乳用成牛	26	72	13, 865	2, 318, 616, 551	139, 062, 007	167, 228	
	増減	$\triangle 3$	116	83, 902, 087	8, 063, 062	4, 614	

項	目	∄	臣 要	施策	• 成	果・予算	執行実績	Harry
		共済目的	年度	戸数	引受頭数	共済金額 (円)	徴収共済掛金(円)	1頭当共済金額(円)
			27	56	13, 602	357, 977, 032		26, 318
		乳用子牛等	26	57	13,070	330, 766, 009		25, 307
		増減	△1	532	27, 211, 023		1,011	
		27	29	32, 423	5, 197, 352, 750	78, 661, 480	160, 298	
		肥育用成牛	26	28	32, 087	4, 471, 173, 100	67, 801, 348	139, 345
			増減	1	336	726, 179, 650	10, 860, 132	20, 953
		27	6	1,845	102, 156, 900		55, 370	
	肥育用子牛	26	5	1,974	92, 724, 900		46, 973	
		増減	1	△129	9, 432, 000		8, 397	
		その他の	27	8	373	83, 630, 250		224, 210
		肉用成牛	26	8	365	80, 611, 300		220, 853
			増減	0	8	3, 018, 950		3, 357
		その他の	27	8	412	36, 426, 400		88, 414
		肉用子牛等	26	8	377	29, 076, 950		77, 127
		内用于十等	増減	0	35	7, 349, 450		11, 287
			27	6	29	8, 002, 400	434, 248	275, 945
		一 般 馬	26	6	23	5, 011, 200	276, 781	217, 878
			増減	0	6	2, 991, 200	157, 467	58, 067
			27	1	1	145, 600	7, 181	145, 600
		種雄牛馬	26	1	1	80,000	3, 946	80,000
			増減	0	0	65, 600	3, 235	65, 600
			27	実100	62, 666	8, 188, 209, 970	226, 227, 978	130, 664
		合 計	26	実103	61, 762	7, 328, 060, 010	207, 144, 082	118, 650
		1	1	1 1			ì	

4. 死廃事故の発生状況等

増減 │ △3 │

総事故頭数は2,914頭、支払共済金は330,442千円で前年対比では188 頭増、56,521千円増となった。

860, 149, 960

19, 083, 896

12,014

904

なお、死廃共済金の支払限度額を超過した加入者は、乳牛の雌等で24戸、肉用牛等で1戸である。

(1) 乳用成牛

暑熱による影響で、妊娠分娩期及び産後の疾患など一部疾病は増加傾向にあり、884頭で前年対比87頭増、頭数被害率は6.3%で前年対比では0.6%増となり、全道18組合等の中では高いランクとなった。

(2) 乳用子牛等

792頭で前年対比4頭増、頭数被害率は5.8%で前年対比では0.2%減となり、全道平均を下回った。

(3) 肥育用成牛

856頭で前年対比12頭減、頭数被害率は2.6%で前年対比では0.1%減となったが全道平均を上回った。

(4) 肥育用子牛

359頭で前年対比104頭増、頭数被害率は19.5%で前年対比6.6%増となり、全道平均を上回った。

項目

主要施策·成果·予算執行実績

共済目的ごとの死廃別頭数及び支払共済金

		死	廃	事 故	
共済目的区分	頭数	転帰	区分別	頭数	支払共済金
	以 数	死亡(うち法	令殺)	廃用	(円)
乳用成牛	884	482	(14)	402	155, 399, 188
乳用子牛等	792	767	(1)	25	21, 269, 122
肥育用成牛	856	786		70	130, 098, 213
肥育用子牛	359	356		3	20, 750, 055
その他の肉用成牛	2	1		1	487, 118
その他の肉用子牛等	20	20		0	2, 331, 546
一般馬	1	1		0	106, 566
種雄牛馬	0	0		0	0
合 計	2, 914	2, 413	(15)	501	330, 441, 808
前年度実績	2, 726	2, 258	(10)	468	273, 920, 516
増減	188	155	(5)	33	56, 521, 292

5. 病傷事故の発生状況等

総給付件数は11,959件で前年対比2,033件減、支払共済金は146,269千円で前年対比4,540千円増となった。

病傷事故の乳用成牛は泌乳器病と生殖器病が減少、消化器病は増加し、乳用子牛等は、従前同様、消化器病と呼吸器病が事故の大半を占めている。

(1) 乳用成牛

給付件数は8,894件で前年対比1,551件減、頭数被害率は63.61%で前年対比11.72%減となった。

なお、特定損害防止事業の効果として、繁殖障害(次表では内生殖器)が平成1 1年度には5,583件で給付相当額48,390千円だったものが、平成27年度 には1,718件で8,687千円と大幅に減少している。

主な病類別は次表のとおりである。

病 類	年 度	件 数	頭数被害率(%)
	27年度	8, 894	63. 61
総 件 数	26年度	10, 445	75. 33
	増 減	△1,551	△11.72
	27年度	3, 596	25. 72
内泌乳器	26年度	4, 951	35. 71
	増 減	△1, 355	△9. 99
	27年度	1,718	12. 29
内生殖器	26年度	2, 072	14. 94
	増減	△354	△2.65
	27年度	697	4. 99
内消化器	26年度	666	4.80
	増減	31	0. 19

項目主要施策・成果・予算執行実績

病 類	年 度	件 数	頭数被害率(%)
	27年度	2, 883	20. 62
その他	26年度	2, 756	19. 88
	増減	127	0. 74

(2) 肥育用成牛

給付件数は930件で前年対比50件減、頭数被害率は2.87%で前年対比0. 18%減となった。

主な病類別は次表のとおりである。

病 類	年 度	件数	頭数被害率(%)
	27年度	930	2.87
総 件 数	26年度	980	3.05
	増減	△50	△0. 18
	27年度	506	1. 56
内呼吸器	26年度	633	1. 97
	増減	△127	△0.41
	27年度	136	0.42
内消化器	26年度	181	0. 56
	増減	$\triangle 45$	△0.14
	27年度	84	0. 26
内運動器	26年度	55	0. 17
	増減	29	0.09
	27年度	204	0.63
その他	26年度	111	0.35
	増減	93	0. 28

(3) 給付状況

		病。	事 故			
項目	件数	支払共済金(円)				
		嘱託診療所分(農協)	その他 (開業医等)	計		
27年度	11, 959	146, 057, 590	211, 550	146, 269, 140		
26年度	13, 992	141, 400, 668	328, 940	141, 729, 608		
増減	△2, 033	4, 656, 922	△117, 390	4, 539, 532		

6. 経理状況

// L. / L / L/	_									
歳 入	額	5	5	3,	4	8	1,	1	9	4円
歳出	額	5	3	9,	5	6	6,	8	6	9円
剰 余	金									0円
責任準備	青金		1	3,	9	1	4,	3	2	5円
家畜責	責任準備金			5,	9	1	3,	7	6	7円
技術責	責任準備金			8,	0	0	0,	5	5	8円
積 立	金	2	4	3,	2	7	3,	0	3	3円
污	长定積立金	1	1	2,	3	9	4,	6	9	3円
朱	持別積立金	1	3	Ο,	8	7	8,	3	4	0円

項 Ħ 主要施策·成果·予算執行実績

4. 畑作物共済 勘

定

1. 引受

平成27年産の加入状況は、引受戸数は252戸、引受面積は647,244 a、 共済金額は5,223,713千円となり、前年対比の戸数は3戸減、面積は2,9 35aの増となり、共済金額は、115,799千円の増となった。 引受状況

項目	加入	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	納入保険料	手持共済掛金
区分	戸数	(a)	(kg)	(円)	A (円)	B (円)	A-B (円)
ばれいしょ	230	200, 405	57, 589, 587	2, 080, 505, 112	25, 424, 687	14, 124, 907	11, 299, 780
大 豆	131	50, 438	1, 216, 539	360, 221, 804	19, 579, 155	10, 877, 337	8, 701, 818
小 豆	225	76, 478	1, 560, 216	453, 814, 445	19, 196, 410	10, 664, 721	8, 531, 689
いんげん	177	49, 217	578, 876	161, 082, 238	7, 820, 209	4, 344, 599	3, 475, 610
て ん 菜	233	211, 410	110, 143, 943	1, 896, 219, 106	29, 012, 208	16, 117, 941	12, 894, 267
スイートコーン	164	56, 742	6, 531, 631	209, 500, 635	1, 131, 345	628, 560	502, 785
たまねぎ	5	2, 554	1, 090, 376	62, 369, 506	2, 104, 972	1, 169, 430	935, 542
計	実 252	647, 244		5, 223, 712, 846	104, 268, 986	57, 927, 495	46, 341, 491
前年度実績	実 255	644, 309		5, 107, 913, 883	99, 546, 271	55, 303, 770	44, 242, 501

2. 被害

平成27年産の生育状況は、春耕期は高温・小雨で推移し、植付・播種作業は順調 に進んだが、5月に降霜、強風、乾燥により一部で被害が発生した。

ばれいしょは、株当たりの着粒数は少なかったが、1個重が大きかったため、平年 並みの収量であった。

豆類では、大豆が順調に生育し、小豆と金時で低温と小雨による生育停滞が見られ たが、収量は平年を上回った。

てん菜は、春先の霜害が懸念されたが、その後は順調に生育し、収量は平年を上回 り高糖度となった。

共済金支払状況

	項目	支払対	象被害	共済減収量	共 済 金	被害率	(%)
区分		戸数	面積(a)	(kg)	(円)	面積	金額
大	豆	9	2,060	4,608	1, 245, 456	4. 1	0.3
小	豆	0	0	0	0	0.0	0.0
いん	げん	0	0	0	0	0.0	0.0
7	ん 菜	5	7, 910	133, 823	2, 285, 650	3.7	0.1
スイー	トコーン	5	1,864	10, 626	318, 178	3.3	0.2
	十	実 14	11, 834	149, 057	3, 849, 284	2.7	0.1
前年月	度実績	実 160	141, 455	7, 479, 143	125, 699, 892	32.6	4.3

平成28年 1月28日 (てん菜・スイートコーン) 共済金支払年月日 平成28年 3月30日(全相殺大豆)

仮払金精算状況(平成26年産分)

- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
項目	当初仮払金額	仮払金精算額	増減	仮払金
区分	A (円)	В (円)	B-A(円)	精算年月
ばれいしょ	5, 180, 184	5, 180, 184	0	
たまねぎ	4, 764, 166	4, 764, 166	0	平成27年8月
計	9, 944, 350	9, 944, 350	0	

項 Ħ

主要施策・成果・予算執行実績

仮払金支払状況

項目	支払対象被害		共済減収量	仮 払 金	被害率	(%)
区分	戸数	面積(a)	(kg)	(円)	面積	金額
ばれいしょ	11	2, 385	69, 193	3, 157, 962	1.2	0.2
たまねぎ	0	0	0	0	0.0	0.0
計	実 11	2, 385	69, 193	3, 157, 962	1.2	0.1

仮払金支払年月日 平成27年12月28日

無事豆支払状況

7111	M								
	項目			支払	無				
	区分			連合会特別	特別積立金	計	支払年月日		
区			戸数	交 付 金	取 崩 額	ĦΤ			
畑	作	5 品	目	118	25, 106, 275	8, 713, 161	33, 819, 436		
露	地	野	菜	82	52, 159	114, 824	166, 983	平成27年9月29日	
	計		実168	25, 158, 434	8, 827, 985	33, 986, 419			

3. 経理状況

剰 余 金 43,543,257円 (議会認定後積立金に振替予定) 畑作物支払備金 12,235,322円 (ばれいしょ・たまねぎ分)

積 立 金 411,088,741円

法定積立金 263,764,159円 株別建立会 147,224,582円 147,324,582円 特別積立金

5. 業務勘定

業務勘定は、平成18年度から事務費補助金が地方交付税へ税源移譲された一般会計 繰入金、加入者負担の事務費賦課金、基金利子収入が主な財源となっている。

1. 一般会計繰入金

(単位:円)

27年度	26年度	25年度	
37, 200, 000	41, 155, 000	40, 358, 000	

2. 事務費賦課金

(単位:円)

	27 年度	26 年度	25 年度
農作物	9, 992, 682	10, 255, 938	10, 615, 500
家畜	38, 649, 200	38, 610, 000	39, 078, 600
畑作物	9, 671, 757	9, 761, 652	9, 607, 329
計	58, 313, 639	58, 627, 590	59, 301, 429

3. 基金利子収入

(単位:円)

27年度	26年度	25年度		
1, 224, 527	1, 204, 018	1, 116, 251		

4. 繰越金

(単位:円)

27年度	26年度	25年度
33, 792, 063	36, 362, 687	40, 408, 863

項目

主要施策・成果・予算執行実績

5. 経理状況

歳入額 156,439,730円 歳出額 122,680,790円

繰越金 33,758,940円 (平成28年度へ繰越)

6. 加入状況

ſ			加	入者	内	訳	
	加入者数	当然加入者		任 意	加	1 入 者	
		(農作)	家畜のみ	畑作のみ		家畜と畑作	計
ſ	345人	244人	86人	13,	V	2人	101人

7. 特定損害防止事業の実施状況

	実 施	頭数
	27年度	26年度
繁殖障害	7,758 頭	7,064 頭

8. 連合会支払賦課金

(単位:円)

区	金額	
	農作物共済	1, 055, 251
支払事務賦課金	家 畜 共 済	8, 691, 080
又払事伤與床金	畑作物共済	2, 282, 483
	計	12, 028, 814
支払防災賦課金(家	2, 201, 634	

9. 奨励事業及び損害防止事業

(単位:円)

区分	27 年度	26 年度	25 年度
家畜一般損害防止事業委託料(乳検)	3, 451, 000	3, 451, 000	3, 400, 000
家畜特定損害防止事業委託料(農協)	13, 727, 070	12, 504, 120	12, 522, 620
畜舎等衛生事業助成金 (農協)	3, 600, 000	3, 600, 000	3, 600, 000

10. 委嘱状況

(1)農業共済事業運営協議会委員 17人

(委嘱期間:平成25年4月2日から平成28年4月1日までの3年間)

(2) 損害評価会委員

農畑作物共済部会 25人

家畜共済部会 5人

(委嘱期間:平成25年4月2日から平成28年4月1日までの3年間)

(3) 共済連絡員(委嘱期間1年間)

農作物関係 11人(麦作集団長に委嘱)

畑作物関係 49人

家畜関係 8人

(4) 損害調査員(委嘱期間1年間)

農作物 33人

畑作物 49人

(5)推進員(委嘱期間1年間)

農作物 33人

畑作物 49人

主要施策・成果・予算執行実績 項 目 11. 主な会議 年 月 日 概 第6回十勝管内農業共済組合等組織再編検討委員会正副委員長会議 平成27年 4月21日 平成27年 5月21日 第1回損害評価会農畑作物共済部会 平成27年 7月 3日 第7回十勝管内農業共済組合等組織再編検討委員会正副委員長会議 平成27年12月 7日 第2回損害評価会農畑作物共済部会 平成27年12月29日 第3回損害評価会農畑作物共済部会 平成28年 1月19日 第8回十勝管内農業共済組合等組織再編検討委員会正副委員長会議 平成28年 1月29日 第1回損害評価会家畜共済部会

第4回十勝管内農業共済組合等組織再編検討委員会

第4回損害評価会農畑作物共済部会

農業共済事業運営協議会

平成28年 2月25日

平成28年 3月 3日

平成28年 3月 3日